

# 日本国文部科学大臣と フランス共和国スポーツ大臣による スポーツ分野の協力に関する声明

柴山昌彦 日本国文部科学大臣及び

ロクサナ・マラシネアヌ・フランス共和国スポーツ大臣（以下、「両署名者」という。）  
は、

日本国及びフランス共和国が、これから数年に亘り大規模なスポーツイベント、すなわち、ラグビーワールドカップの2019年日本大会及び2023年フランス大会並びにオリンピック・パラリンピック競技大会の2020年東京大会及び2024年パリ大会を開催することを踏まえ、両国の尊重、平等及び相互恩恵の理想の下に、二国間のスポーツ分野での協力関係の重要性を認識した。

スポーツ分野での密接な協力を通じ、両国間の友好関係の強化に貢献するため、

両署名者は、後述の協力方法に基づいて、二国間のスポーツ分野での協力関係をさらに強化していくことを宣言する。

## I. スポーツ分野での協力

2019年及び2023年のラグビーワールドカップ並びに2020年及び2024年のオリンピック・パラリンピック競技大会に向け、

両署名者は、次の点においてスポーツ分野での協力関係を強化することを提案する。

- ハイパフォーマンス
- スポーツ産業及びスポーツ観光の発展並びにスポーツ市場におけるイノベーションの促進
- スポーツ倫理、特に、ドーピング防止対策
- 大規模スポーツイベントの開催における目標やノウハウ（使用言語課題などを含む）の共有及びかかるイベントのレガシーの活用
- スポーツ・フォー・オール

両署名者は、上記の分野における協力の強化を通じて、様々な競技・種目において日仏両国の競技連盟が取り組む事業の発展を促進する。

## II. 協力方法

本声明の枠組みの下での協力は上記スポーツ分野における、とりわけ情報及びグッド・プラクティスの交換を通じて奨励される。

- 両署名者は、日仏で実施される国際競技大会に両国の選手が参加することを奨励する。
- 上記の交流を行うために、日仏の国を代表する競技連盟が交流を確かなものとするべく、直接に関係を構築し、関係を深めることを奨励する。
- 運動能力の研究に関する専門機関の交流強化を奨励する（国立スポーツ専門知識能力研究所（INSEP）、ハイパフォーマンスセンター等の機関）。
- 両国のスポーツ企業が、特にスポーツにおけるスタートアップ企業を育成するための基盤づくりを支援することを通じて、スポーツ産業の協力・交流を強化することで、スポーツ産業・スポーツ企業の発展を、促進することを奨励する。
- スポーツ経済交流を含むスポーツ分野の様々なテーマのイベント等に関する情報交換を行う。
- 国際競技大会などの開催の機会を捉え、インバウンドの増加を目指したスポーツツーリズムや地域スポーツ振興を奨励する。

## III. 一般規定

両署名者及び両当局は、本声明の枠組みの下で実施される協力活動に責任を有する。

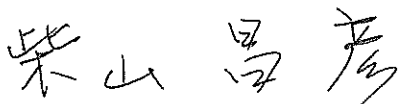
両署名者は、本声明の枠組みの下で実施されるスポーツ事業の詳細に関する調整及び財政的条件について取り決めることができる。

本声明は国際法上の法的拘束力を有するものではなく、本声明の対象となる協力と交流は、両国のそれぞれの法令に基づき、両当局の予算の範囲内で実施される。

東京にて2019年1月30日に、日本語及びフランス語による本書各二通に署名され、両文書は同等の価値を有する。

日本国 文部科学大臣

フランス共和国 スポーツ大臣



柴山 昌彦



ロクサナ・マラシネアヌ